

留萌地域情報受発信フリーペーパー

るもいfan



天塩町 | 遠別町 | 初山別村 | 羽幌町 | 苫前町 | 小平町 | 留萌市 | 増毛町

VOL.23 2013.02.25
毎月発行

メイド in 遠別

<http://rumoifan.net>



エゾモモンガ

子育て中のエゾモモンガ。遠別町の森に棲む小動物のエゾモモンガは夜行性で、樹洞を巣とし樹上で生活する。飛膜を持ち滑空することができ、その距離は50mほど。飛膜を広げるとハガキ大の大きさになる
【写真：泊和幸さん】



今月の表紙

「メイト in 遠別」
留萌管内遠別町で生まれた歌、地域と密接につながる農業高校を紹介。写真はエゾクロテン
【写真：遠別町情報員 泊和幸さん】



キタキツネ 海岸線をなわばりとしているのか、見回るようにあたりを悠々と歩く

冬の遠別、 動物たちとの出会い

2月【写真：泊和幸さん】



ホシガラス 人里で姿を見ることがほとんどできないホシガラス。貴重な一枚



エゾタヌキ 森の中での偶然の出会い。他の動物を撮るつもりだったが、珍客の出現にシャッターを切る

「北海道留萌管内体験観光サイトるもい体験 Navi」より、6つのキーポイント別に主な体験プログラムをご紹介します。よりディープなるもいを体験をぜひ！料金など詳しくは、下記までお問い合わせください。

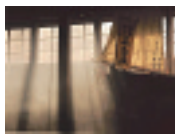
<http://rumoifan.net/taiken/> TEL0164-42-3871 e-mail:info@rumoifan.net

歴史・産業遺産

重要文化財、北海道遺産、資料館巡り、るもいの多様な歴史を探訪できます。

旧花田家番屋でニシンの残像を知る など

道内に現存する最大規模の鱈番屋で、地元ガイドによる案内のもと、ニシンで栄えた当時の軌跡をたどります。



【体験期間】通年 【受入対象】個人・団体・学校教育

アウトドア・スポーツ

フィールドは無限定。マリンスポーツ、登山、スキーなど季節ごとに楽しめます。

しょさんべつ沖釣り体験 など

経験豊富な船長のガイドのもと、沖に出て船釣り体験を楽しめます。海に囲まれた沖釣りの醍醐味をぜひ体験してください。



【体験期間】通年 【受入対象】団体・学校教育

自然に親しむ

海、山、川、自然満載なロケーションで、るもいの自然を満喫できます。

海鳥をシル・ワカル体験プログラム など

海鳥繁殖地をジオラマで再現。実際に触れる展示物もあります。五感を使い海鳥の不思議を体験することができます。



【体験期間】通年 【受入対象】個人・団体・学校教育

食文化・クラフト

特産品作りや、陶芸、羊毛加工体験など、地域独自のものづくり体験ができます。

菓子工房花ぼうろで大福作り体験 など

遠別町産のもち米「はくちょうもち」を使った大福もち作りができます。最北の稲作地帯の食文化を是非体験してください。



【体験期間】通年 【受入対象】個人・学校教育

農業・酪農・水産

旬の果樹の摘み、水産学習など。地域特産物を使った加工品作りもぜひ。

セリ場見学 など

サケ、タコ、エビなどの魚介類が並ぶ留萌地方卸売市場で活気溢れるセリを見学。セリの仕組みを間近で学べます。



【体験期間】通年 【受入対象】学校教育

リラクゼーション&健康

自分に合った健康づくりを、楽しみながら気軽に体験できます。

リハビリ・リンゴ園でリンゴを育てよう など

農作業・植樹・加工品製作など障害や病気の度合いをドクターと相談し作業を決めます。まずはご相談ください。



【体験期間】通年 【受入対象】個人・団体・学校教育

北海道留萌管内体験観光サイト

るもい体験 Navi

<http://rumoifan.net/taiken/>



るもい体験Navi
留萌スペシャルプログラム
ウェブサイト公開中!!
<http://rumoi-taiken.info/>



主催/北海道留萌振興局産業振興部 商工労働観光課 Powered by「るもい観光産業コーディネーター育成事業委託業務」受託 コンソーシアム
〒077-0005 留萌市船場町2丁目J R留萌駅2階エフエムもえる内 TEL0164-42-3871 e-mail:info@rumoifan.net

メイド in 遠別



1月から2月の飼育舎はベビーラッシュを迎えている

留萌管内最北の稲作地帯、遠別町。

緑豊かで漁業も盛んな町には、この町を愛する人々が生み出す輝きが見える。

やっぱりモモちゃん

遠別町のマスコットキャラクタ―・モモちゃん。

21年前に、この町の森に生息するエゾモモンガをモチーフに町の女性職員が考案。モモちゃんの色は遠別川を遡る鮭をイメージしたサーモンピンクと大きな瞳が特徴だ。交通安全旗などにもデザインされ町民から親しまれている。イベントで大活躍するモモちゃんの周りにはいつも子ども達の笑顔があふれている。

「人気者のモモちゃんの歌を作ろう」。地元で音楽活動を続ける遠別町音楽友の会では、平成6年に『やっぱりモモちゃん』を作詞作曲し、イベントなどで披露してきた。



モモちゃんと一緒に踊る子ども達。
「やっぱりモモちゃん」は遠別をこよなく愛する人々が心を込めて作った曲。

そして昨年、会の発足35周年記念としてレコーディングを行った。北海道各地からOBやOGが駆けつけ、遠別町音楽友の会オールスターズとしてCD化。完成後、町内の子どもがいる世帯にCDを配布した。ビートルズのオブラディ・オブラダにインスピレーションを得て作曲されたメロディー、親しみやすい歌詞、つい口ずさんでしまう覚えやすい曲は町のイメージアップに一役買っている。

「就職で遠別町にやってきた自分を育ててくれた町。音楽で貢献できることが嬉しい」

と作曲担当の松橋さん。

「故郷、遠別町の良さをもつと知ってもらいたい」と作詞担当の別段さん。それぞれの想いが曲に込められている。

「この町に住んで30年。住みやすい町です」と会長の安齊さん。次世代に音楽の輪を広げていきたいと、親子音楽会や管内の保育所を巡り、モモちゃんのように、軽やかに飛び続ける。

飛べ、飛べモモちゃん、いつでも飛んでいく！モモちゃんは君だけのものだから。



遠別町音楽友の会のメンバー。左から松橋秀和さん、安齊裕幸さん、別段英幸さん。

生きる力を育む

北の大地の厳しい風雪の中で学び、伸びゆく若葉のように巣立ちゆく生徒の姿を校章とする北海道遠別農業高等学校。

教育課程には生産科学コースと食品科学コースがある。生産科学コースでは、実習農場での畑作物の栽培、羊の飼育を通じて作物、草花、畜産基礎を学ぶ。食品科学コースでは、食品製造、食品化学、微生物基礎を学び、加工品の開発や販売実習などを行う。



大切に育てる羊から命の大切さ、生きる力を生徒達は学ぶ

「生産、加工、販売までを体験でき、生きる力を養えるのが農業高校の良さ。生徒達は食の大切さ、他の命をいただし自らの命が支えられる現実を身を持って学びます」と近野仁校長。

地域と密接につながる教育活動も特色のひとつ。幼児センターの子ども達と一緒に花壇に花を植えたり、遠別小学校5年生とは田植えや稲刈りで交流を深めている。教える立場を体験し、改めて学習の成果が定着する。「遠農高マルシェ」では毎月1回、研究開発したソーセイジやレトルトカレー、シチューなどの加工品、収穫した野菜、自家製のパンやピザを販売し、毎回、大勢の町民が買物にやってくる。

丁寧に取り組みれば良いものができる、食べることのありがたさ、生徒達がこの学び舎で身につけたこと一つ一つが人生の基盤となる。

生徒の自主性を育むため、敢えて言葉として教え込むことはしない。出産ラッシュを迎えた極寒の飼育舎で易々と子羊を抱きかかえる自然な動作、研究用の白衣を見まとい加工品を自信に満ちた表情で紹介する姿、体験を通した学びを象徴しているかのようだ。3月1日、卒業式を迎える3年生らは、それぞれに生きる力を内に秘めて巣立つてゆく。

雪深い遠別町に春がやってくる。それぞれの想いが広がる春はすぐそこ。

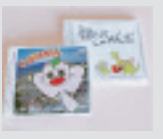
北海道遠別農業高等学校

遠別町字北浜74番地
TEL 01632-7-2551
<http://www.enbetsunougyou.hokkaido-c.ed.jp/>



遠別町音楽友の会

会長 安齊裕幸
昭和52年結成。現在
会員6名。オリジナル
曲「やっぱりモモちゃん」
「歌っていいもんだ」





留萌管内総合食事典

るもい食ペディア ~留萌管内の魅力あふれる食の百科事典~

ホタテのエキスが溶け込んだ中華粥は和風の白粥とはまた違った美味しさがあります。油が少し入るので腹もちもよくなります。

中華粥（乾ホタテ貝柱）



■材料

- 乾ホタテ貝柱 4～5個
- 米 1合
- ゴマ油 大さじ1
- 水 10カップ
- ショウガ 1かけ
- 鶏ガラスープの素 小さじ1/2
- 塩 小さじ1/2
- ザーサイ 適量



■作り方

- ① ホタテ貝柱はかぶるぐらいのぬるま湯につけて戻しておく。
- ② 米を研ぎ、30分ほどザルにあげて水を切る。米にゴマ油をまぶしなじめせる。※
- ③ 鍋に貝柱の戻し汁と水を入れ沸騰させる。その中にゴマ油をまぶした米を入れる。米と水の割合は1：10
- ④ 貝柱の身をほぐし、塩や鶏ガラスープの素、ショウガのスライスを入れ、コトコト30分ほど煮る。
- ⑤ 好みの水量になったら、器に盛り、刻んだザーサイやショウガの千切りをのせる。

※米に油をまぶすと煮だてたとき米が早く割れ、煮る間に油が乳化して中華風のkokと風味が生まれる。

るもい人の
ひとりごと
Column

節分が過ぎ立春を迎えても、まだまだ寒い日が続いている。現在のように物流の整備がされていなかった頃、先人達は越冬の知恵として、飯寿司、漬け物、魚の干物など様々な食材を加工保存し冬を越していた。大雪で警報や注意報が頻繁にでたこの冬、停電こそ少なかったものの、買い物に行けず冷凍食品や備蓄のレトルト保存食を食べつくした。ふと見つけたホタテの貝柱は、電気釜で簡単にできる中華粥の具材として重宝した。

(編集局)



旬の特産品

るもいの旬の特産品をご紹介します！

No.23 「北海道遠別農業高等学校」加工製品特集

留萌管内遠別町にある日本最北の農業高校「北海道遠別農業高等学校」では、生きる力を育てる教育をモットーに生産科学科を設置している。教育課程には、大地に挑むエキスパートを目指す「生産科学コース」と食品加工のスペシャリストを目指す「食品科学コース」がある。羊を飼育し、もち米や野菜を作り、花を育てる過程で、生産された農産物を加工、商品開発し販売している。校内の大花畑の中に作ったアンテナショップ「遠農高マルシェ」や町内のイベントなどで販売している。



① 小豆

和菓子の餡としても需要が高い小豆。小豆の他にも金時豆、黒豆などをつくっている。

② ラムシチュー

具材の野菜はもちるん遠農産。肉は遠農で飼育した羊を使用し、デミグラスソースでじっくり煮込んでいる。

③ マトンウィンナーソーセージ

遠農で飼育しているサフォーク種の羊をソーセージに加工。



④ もち米

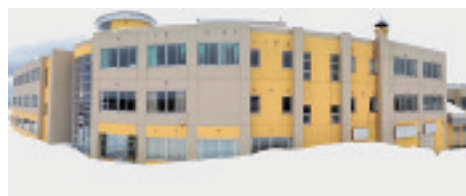
日本最北の稲作地帯の遠別町。遠農の水田で生徒が田植え稲刈りをし生産したもち米。品種は「はくちょうもち」で1キロパック入り。

⑤ Perilla(ペリーラ)

濃縮タイプの遠農特製しそ飲料。水や炭酸水などで割って飲むタイプ。

⑥ ホタテカレー

ニンジン、ジャガイモ、タマネギなどの具材は、すべて遠農産。ホタテは、遠別産の稚貝を使用している。



北海道遠別農業高等学校

昭和27年北海道天塩高等学校遠別分校として設立許可を得、遠別中学校に間借りする形で開校。その後昭和53年には、全日制課程「北海道遠別農業高等学校」に改称し、生産科学科1間口の農業単置校となる。日本最北に位置する小規模な農業高校だが、平成13年に完成した新校舎と充実した設備のもと、様々な特色ある教育活動を展開し、地域に根ざした魅力ある学校づくりに努めている。

北海道遠別農業高等学校

所在地 天塩郡遠別町字北浜74番地

電話 01632-7-2551

FAX 01632-7-2376

URL <http://www.enbetsunougyou.hokkaido-c.ed.jp>



雪を照らすキャンドルの灯り【留萌市 海のふるさと館『けあらしの里』】

るもいfan
とは？

食・人・観光の情報

「るもいfan」は、
留萌地域情報員による
留萌地域情報受発信の
フリーペーパーです。

るもいfanでは、留萌地域のネットワークを通じて収集した観光情報、イベント、旬の話題、人、食に関する情報を紹介しています。
北は天塩町から、南は増毛町まで、北海道留萌管内8市町村の地域ならではの魅力を全国へ、そして世界へ向けて発信しています。

イベントカレンダー【3月】

<p>2日(土)</p>	 <p>てしおスノーランド【天塩町】 天塩小学校グラウンド 菓子まき、魚、野菜詰め放題など、楽しい催しものが盛りだくさん。</p>	<p>2月8日(金) 3月11日(月)</p>	 <p>あの日から2年、東日本大震災を知る月間【小平町】 小平町文化交流センター 東日本大震災から2年。追悼と被災地への思いを共有。</p>
<p>10日(日)</p>	 <p>第15回 萌っこ春待里【留萌市】 陸上自衛隊留萌駐屯地グラウンド 留萌に春を呼びまつり。 甘エビ争奪ジャンケン大会、お米が当たる米ファイタークイズ大会、菓子まき、豪華景品が当たる抽選会。 キムチ鍋やすり身汁の無料提供もある。白熱する萌っこばんばレースの優勝チームにも注目！</p>	<p>2月8日(金)～3月11日(月) 3月11日(月)</p>	<p>パネル展示「ビッグバレットふくしま避難所記」(見学無料) 3.11追悼イベント「キャンドルナイト&追悼太鼓演奏」(参加無料) 3月11日(月) 映像上映会「原発30km圏内からの報告(TV編)」(見学無料)</p>
<p>16日(土)</p>	 <p>新酒まつり2013 国粋一杯やろう会【増毛町】 オーベルジュまじけ 国粋の日本酒が各種飲み放題、利き酒大会、地元食材を使ったこだわりの肴に楽ししみ抽選会など。</p>	<p>2月26日(火) 3月4日(月)</p>	 <p>泊和幸写真展「鷲たちとボクの30年」【旭川市】 ヒラマ画廊 遠別町で小麦生産農家と撮影活動を両立させながら、遠別町に生息する野生動物を撮影し続けている日本写真協会会員の泊和幸さんの写真展が旭川で開催。</p>
<p>22日(金) 23日(土)</p>	 <p>るもいコミュニティカフェテリアPLUS【留萌市】 るもい健康の駅 海藻PLUSのワンプレートカフェ。 参加料700円。予約・問い合わせはエフエムもえる(0164-42-3871)</p>	<p>会期/2月26日(火)～3月4日(月) 時間/10:00～18:00(最終日16:00) 会場/ヒラマ画廊(旭川市2条通8丁目左1号2F)</p>	 <p>泊和幸(とまりかずゆき) 遠別町在住。日本写真協会会員。 フリーペーパーるもいfan vol.10特集で紹介。</p>

留萌地域情報サイト

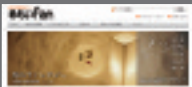
るもいfan

http://rumoifan.net

るもい fan

検索

るもいの旬の情報を毎日更新中！
あなたの人・食・地域の情報
お待ちしております！



FMもえる 76.9MHz
「わがマチ元気発信」
平日 8:25/12:25/18:25～



ポッドキャスト配信中！
るもいfan トップページ
「わがマチ元気発信」からアクセス



北海道留萌管内体験観光サイト
るもい体験Navi
http://rumoifan.net/taiken/